

議会だより



育徳館中・高 囲碁将棋部を紹介します！
詳しくは裏面をご覧ください。



3月定例会の結果報告 2～7P
議会の活動報告 8P
11名の議員が町政を問う 9～19P
がんばっちょる 20P

令和6年度一般会計予算 135億円

令和6年度当初予算は、議員全員で構成する予算決算常任委員会において、3月12～13日の2日間、集中的に審議し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

令和6年度一般会計予算は、135億円で、昨年度と比較して5億200万円の増額となっています。

昨年度と比較すると、自治体DX推進経費や社会保障関係費の増額、文化交流センター建設などの大型事業の計上、子育て世帯への支援の拡充等により大幅な増額となっています。

主な事業の内容を要約し報告します。

令和6年度 各会計別当初予算額		
(千円) (%)		
会 計 別	予 算 額	前年比
一 般 会 計	13,502,000	103.9
特 別 会 計	6,932,091	102.4
国民健康保険事業	2,359,154	99.0
後期高齢者医療	458,515	109.6
介護保険事業	2,802,768	101.5
住宅新築資金等事業	2,673	97.2
土地取得	200	100.0
水道事業		
収益的収支	505,881	101.1
資本的収支	358,202	135.9
下水道事業		
収益的収支	322,421	97.0
資本的収支	72,942	122.3
犀川財産区管理会	441	82.6
城井財産区管理会	3,151	100.0

令和6年度 一般会計当初予算性質別		
(千円) (%)		
性 質 別	予 算 額	前年比
人件費	2,287,468	110.1
扶助費	1,898,318	105.5
公債費	1,050,697	96.7
普通建設事業費	2,831,487	100.3
災害復旧事業費	47,225	100.0
物件費	2,319,052	109.3
補助費等	1,554,618	99.2
繰出金	1,244,563	105.8
その他	268,572	89.2
合 計	13,502,000	103.9

主な新規事業

事業名	概 要	担当課	令和6年度 予算額(千円)
ペーパーレス会議システム(タブレット端末)導入事業	需用費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費	議会事務局	2,792
		総務課	6,989
自治体システム標準化対応システム構築事業	委託料	行政経営課	80,365
保育所等保育料無償化事業	委託料	子育て・健康 支援課	25,116
保育所等副食費無償化事業	3歳以上給食賄材料費、負担金補助及び交付金		13,272
地域猫・飼猫不妊手術事業	役務費、負担金補助及び交付金	住民課	624
やすらぎ苑空調設備更新事業	工事請負費		20,000
雑草堆肥化事業	管理委託料	産業振興課	951
消防団員作業服・ヘルメット購入事業	需用費、備品購入費	総務課	15,606
防災行政無線再整備事業(豊津地区)	設計委託料		11,200
スクールバス購入事業	車両購入費	学校教育課	33,627
小学校外壁改修事業	工事請負費(黒田小:22,407千円、久保小:32,604千円)		55,011
豊津小学校旧校舎解体事業	設計委託料、監理委託料、調査委託料、工事請負費		284,700
豊津中学校屋上防水事業	監理委託料、工事請負費		39,811
文化交流センター建設事業	賞品代、申請手数料、設計委託料、測量設計委託料、監理委託料(R6～7継続費)、工事請負費(R6～7継続費、付帯工事)、負担金補助及び交付金	生涯学習課	1,021,994
小宮豊隆生誕140周年記念事業	旅費、展示品作成委託料、調査委託料		2,092
学校給食無償化事業	賄材料費(小中学生給食費無償化)	学校教育課	82,535

3月定例会 委員会審査報告

予算決算常任委員会

(3月12日・13日)

一般会計予算

問(柿野義直)庁議室の改修とあるが、どのような活用を考えているのか。

答(総務課長)会議室の利用方法が限定的なため、機能を十分に使えるように電子化を図る。

問(六田二美)地域課題解決支援補助金は、事業に対してか、話し合いの場づくりに対してか。

答(観光まちづくり課長)グループで決めたことを区単位で話し合いを持って解決してもらうためのもの。

問(熊谷みえ子)高齢者等介護の困難支援としての移動販売は、今後地域を増やす見込みや要望はないのか。

答(保険福祉課長)要望があれば増やしていきたい。

問(岩村宗一郎)すどりの里のお風呂の利用者数は。

答(保険福祉課長)令和6年2月の月間利用者が1432人。町内が65%、町外が35%。月間1000人を超える利用がある。

問(岩村宗一郎)母子手帳アプリ「みやこっこ」はどのような内容を掲載する予定なのか。

答(子育て・健康支援課長)妊娠から育児までの情報を提供していく予定。

問(熊谷みえ子)シルバー人材センターが家庭の木を切り、リレーセンターに搬入する場合、産業廃棄物扱いとなる。粉碎機を貸し出し、その場で粉碎し堆肥として処理できれば、搬入もなくごみの減量化につながるのでは。

答(副町長)雑草をはじめとした堆肥化に向けた取り組みも実験的にやっていく。

問(飯本秀夫)特産品と位置付けている品目は。

答(観光まちづくり課長)獣肉を

「みやこジビエ」として販売している。

問(熊谷みえ子)防火水槽の耐震基準はクリアしているのか。

答(総務課長)把握できていない。

問(熊谷みえ子)防災士の資格取得の援助をしてはどうか。

答(総務課長)職員の研修等をおこない、資格取得の助成を検討していく。

問(熊谷みえ子)本庁舎の防火水槽をオールステンレスにしてはどうか。

答(総務課長)今後検討していきたい。

問(柿野義直)家庭用消火器に対する補助金や更新時期の啓発を。

答(総務課長)初期消火が重要。家庭で準備していただくのが基本ではないかと考えるが、啓発等はする必要はある。助成については今後の課題。

問(柿野義直)教員の働き方改革で多忙解消のために外部指導者を導入するとなっているが。

答(教育長)現在、各中学校に部活動指導員・外部指導者として17名。来年度からどこか拠点になる学校二

校に外部指導者を位置づけるよう進めていく。

国民健康保険事業特別会計予算

問(熊谷みえ子)はり灸施術補助金は団体に加入しているところは対象、していないところでは対象でない。対策は。

答(保険福祉課長)他の自治体等と情報共有しながら検討している。

高齢者医療特別会計予算

問(熊谷みえ子)県は基金の積み増しをしているが、保険料の負担は増えている。負担軽減できないか働きかけを。

答(保険福祉課長)保険料の軽減、基金の有効活用など要請していく。

介護保険事業特別会計予算

問(熊谷みえ子)住宅改修の相談ができる体制はあるのか。

答(保険福祉課長)高齢者支援係、包括支援センター、ケアマネジャーなどで相談を受け付けている。

令和5年度補正予算 (千円)	
【一般会計（第8号）】	▲249,002
【国民健康保険事業特別会計（第2号）】	▲2,800
【介護保険事業特別会計（第4号）】	▲93,000
【水道事業特別会計（第2号）】	
収益的収入および支出	▲2,600
資本的収入	▲14,050
資本的支出	▲12,400
【下水道事業特別会計（第1号）】	
収益的収入および支出	▲24,700
資本的収入および支出	▲2,000

一般会計補正予算(第8号)

問（飯本秀夫）夢づくり事業は単年度なのか。

答（観光まちづくり課長）単年度だが、最長3年までおこなうことができる。

問（柿野義直）EV充電器の設置状況は。

答（行政経営課長）サン・グレートみやこ、伊良とびあのレストランの2か所。

問（飯本秀夫）物価高騰対応営農継続支援金の対象者数と申請者数は。

答（農林業振興課長）経営農家1000戸予定のうち申請が約600件。

問（飯本秀夫）申請漏れの原因は。

答（農林業振興課長）農協・役場等の窓口で周知徹底したが、広報が足りなかったと反省している。

問（柿野義直）公営住宅の建て替え計画はどのように進んでいるのか。

答（建築課長）みやこ町公営住宅長寿命化計画に基づいておこなっていく予定。

総務産業常任委員会

（3月7日）

権利の放棄について

（住宅新築資金等貸付金）

問（飯本秀夫）債権放棄の要件は。

答（総務課長）本人死亡・準生活保護・生活保護など経済的に返還が困難な場合、相続人の返還が困難な場合、連帯保証人の返還が困難な場合、この3つの要件すべてを満たしていること。

問（梅本智明）債権回収不能が106件程度あるが、総額は。

答（総務課長）令和5年度当初で

2億2896万4540円。

情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定

問（飯本秀夫）電磁記録による作成等とはどういうことを想定しているのか。

答（行政経営課長）書面等による作成の際、署名・押印を義務付けているものを電磁的記録によりおこなう際に、マイナンバーカード等で確認できれば署名・押印の代替とするもの。

問（熊谷みえ子）該当する事項は。

答（行政経営課長）この条例自体で何かするのではなく、オンライン申請化の条件を整理しておくもの。

行政手続条例の一部を改正する条例の制定

問（熊谷みえ子）今まで公示送達

は掲示板のみの狭い範囲だったが、インターネット上で閲覧できることでプライバシーの問題等に抵触しないのか。

答（総務課長）今までの掲示板で掲示するという方法でも閲覧でき

る状態であった。今回のインターネットによる公表は、方法が拡充したというもの。

職員の給与に関する条例の一部を改正

問（飯本秀夫）企画・立案・調整は副町長、国の事業をとってくるのは町長の仕事では。どのような人材を求めているのか。

答（町長）事業を活用する部分が弱いため、そこにたけたかたを政策調整監として公募する。

問（梅本智明）政策調整監とはどのような仕事をするのか。職務内容を明確に。

答（総務課長）政策的な立案に関すること、各課への横断的な調整などを予定している。

問（熊谷みえ子）任期付きとはどれくらいか。費用は。

答（総務課長）5年以内。年間給与が約740万円。

問（梅本智明）優秀な人材が応募してくれる可能性は低いのではないかと思う。国から派遣してもらうということは考えないのか。

答（副町長）優秀な人材の確保が重要だと認識している。国から派遣してもらうことも手段のひとつとして考えている。

手数料徴収条例の一部を改正

問（熊谷みえ子）多機能端末機による交付のみが100円に変わるのか。窓口等での交付は。

答（住民課長）マイナンバーカードを用いて、多機能端末機で交付した場合に限り100円とする。期間は令和6年4月1日から令和7年3月31日まで。

問（熊谷みえ子）みやこ町のマイナンバーカード発行状況は。

答（住民課長）令和6年2月18日公表の取得率は79.3%、交付件数は1万4592件。

介護保険条例の一部を改正

文教厚生常任委員会

（3月11日）

問（大東英壽）保険料の所得割はいくらになるのか。

答（保険福祉課長）所得割ではなく、基準の保険料というものがある。みや

介護保険料の一覧表

段階	住民税 世帯 本人	対象者	R6～R8年度		R3～ R5年度 月額(円)
			基準に 対する割合	月額(円)	
第1段階	非課税	・生活保護受給者 ・老齢福祉年金受給者	0.285	1,653	1,740
第2段階		課税年金収入と合 計所得金額の合計 80万円以下	0.485	2,813	2,900
第3段階		120万円以下	0.685	3,973	4,060
第4段階		120万円超え 80万円以下	0.9	5,220	5,220
第5段階		80万円超え	1.0	5,800	5,800
第6段階	課税	合計所得金額 120万円未満	1.2	6,960	6,960
第7段階		120万円以上 210万円未満	1.3	7,540	7,540
第8段階		210万円以上 320万円未満	1.5	8,700	8,700
第9段階		320万円以上 420万円未満	1.7	9,860	9,860
第10段階		420万円以上 520万円未満	1.9	11,020	—
第11段階		520万円以上 620万円未満	2.1	12,180	—
第12段階		620万円以上 720万円未満	2.3	13,340	—
第13段階		720万円以上	2.4	13,920	—

※第1段階～第3段階保険料は、公費軽減適用後の保険料

こ町では月額5800円。国の平均は6014円。これは第5段階にあたる。

問（柿野義直）新しい区分を所得に直すとどれくらいになるか。

答（保険福祉課長）介護保険料の二覧表のとおり。

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正

問（柿野直子）運営規程等を提示したものは誰でも見られるのか。個人情報への心配は。

答（子育て・健康支援課長）インターネット上で掲示することになるため、だれでも見ることができるとは、個人情報に含まれない。

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正

問（柿野直子）家庭的保育事業をしているところは今どれくらいあるか。

答（子育て・健康支援課長）本町に該当する施設はない。

指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の全部を改正

問（大東英壽）今回の改正で人員削減はできるのか。

答（保険福祉課長）ケアマネージャー1人あたりの担当件数が40未満から45未満となる。大規模なところは削減につながると考えている。

問（田中勝馬）居宅介護支援と地域包括支援センターの違いは。

答（保険福祉課長）地域包括支援センターでは要支援1と2のかた約530名のケアプランを立てる。居宅介護支援事業所では要介護1、5のかた約900名のケアプランを立てる。

問（田中勝馬）居宅介護支援の利用者への負担は。

答（保険福祉課長）変わらない。

令和6年第1回定例会を3月4日から3月22日までの19日間にわたり開催しましたので、その議決結果について報告します。

令和6年第1回定例会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名	岩村宗一郎	松本潤	柿野直子	六田一美	石松雄太	小田勝彦	飯本秀夫	中尾昌廣	大束英壽	柿野義直	原田和美	熊谷みえ子	梅本智明	議決結果
専決処分の承認を求めることについて (みやこ町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認を求めることについて (令和5年度みやこ町一般会計補正予算(第7号))		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
みやこ町犀川財産区管理会委員の選任について (中尾昌廣氏)		○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	同意
みやこ町犀川財産区管理会委員の選任について (柏木主税氏、木森勝則氏、山口邦生氏、濱口敏幸氏、白川孝志氏、荒木友久氏)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町城井財産区管理会委員の選任について (大束英壽氏)		○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	同意
みやこ町城井財産区管理会委員の選任について (野口晴道氏、中野正三氏、沼田弘明氏、青木幸弘氏、和田義弘氏、奥恒行氏)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(荒巻芙美子氏)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(立花薫氏)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
みやこ町職員の育児休業等に関する条例及びみやこ町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
権利の放棄について(5件)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町行政手続条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	●	○	●	○	○	●	○	○	●	○	可決
督促手数料廃止に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
みやこ町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
みやこ町水道事業、簡易水道事業、公共下水道事業及び農業集落排水事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町給水条例及びみやこ町水道技術管理者等の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町監査委員条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の全部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の全部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、除は除斥。

議案名	議員名	岩村宗一郎	松本潤	柿野直子	六田一美	石松雄太	小田勝彦	飯本秀夫	中尾昌廣	大東英壽	柿野義直	原田和美	熊谷みえ子	梅本智明	議決結果
伊良とぴあ館の指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度みやこ町一般会計補正予算(第8号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度みやこ町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度みやこ町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度みやこ町水道事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度みやこ町下水道事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度みやこ町一般会計予算		○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
令和6年度みやこ町国民健康保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
令和6年度みやこ町後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
令和6年度みやこ町介護保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
令和6年度みやこ町住宅新築資金等事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
令和6年度みやこ町土地取得特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度みやこ町犀川財産区管理会特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度みやこ町城井財産区管理会特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度みやこ町水道事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
令和6年度みやこ町下水道事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
みやこ町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
パンデミック条約締結及び国際保健規則改正に関する請願書		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	継続審査

議長は、採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、除は除斥。



岩村宗一郎 議員

議案第10号 みやこ町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

これからの長いみやこ町の町政を進める上で、今回の政策調整監の役職を町長・副町長が熟考頂いた上で、必要と考えられたものと理解しています。過去に例がないからと一概に否定するのではなく、町政を推し進めていく事が、我々の責務ではないでしょうか。

みやこ町の農業に、林業に、住まいに、高齢者に、何よりこれからのみやこ町を担っていく子ども達の未来のために補助・助成金の取得に尽力頂ける人材の確保が必要です。

みやこ町の発展と未来を守っていく為に、今町長がここが弱く、必要と考えるならば、これに反対する理由はないと考えます。



熊谷みえ子 議員

議案第10号 みやこ町職員の給与に関する
条例の一部を改正する条例の制定について

重要施策の企画立案、推進、管理を行う町長公室の設置とあり、国の補助事業を有効に活用するため、データを基にした政策の立案をする政策調整監を置く。

副町長と町長との連携を図らずして、この政策調整監を置くことは必要なのか。

この政策調整監は、最大5年間雇用できるが、重要施策に責任が持てるのか。

町長、副町長の補完的役割、人材登用が必要か。疑義を問う。

議案第27号 みやこ町一般会計予算

機構改革及びまちづくりブランドデザインは、みやこ町の長期的視点で目指すべき将来像と、その実現方法を描くための策定と言うが、残念ながら全貌が見えてこない。

公立保育所の民営化、学校の統廃合など、従来どおり踏襲する姿勢も示され、本質的な子育て支援に逆行するものである。

非正規公務員の増大でなく、実務にたけた専門職員の雇用が必要と考える。正規の公務員を減らし、安価な非正規雇用置き換えでは住民サービスの向上は望めない。公務公共サービスの担い手の育成こそが、まちづくりの根本に据えられるべき。会計年度任用職員の処遇改善の必要性も訴え、反対討論とする。

議会の活動を報告します！

活動報告 1月から3月までの議会及び議長の主な活動を報告します。

月 日	件 名	月 日	件 名
1月 7日(日)	二十歳の集い	2月20日(火)	みやこ町まちづくり グランドデザイン進捗状況説明会
1月10日(水)	みやこ町新年のあいさつ会	2月21日(水)	令和6年第1回京築地区 水道企業団議会 定例会
1月12日(金)	福岡県町村議会議長会 議員研修会	2月22日(木)	福岡県町村議会議長会 定期総会
1月13日(土)	令和6年みやこ町消防出初式	3月 2日(土)	みやこ町文化協会10周年記念式典
1月16日(火)	九州周防灘地域議会連携協議会	3月16日(土)	豊津小学校閉校式
1月30日(火)	基地対策特別委員会視察研修	3月17日(日)	祓郷小学校閉校式
2月 5日(月)	行橋京都メディカルセンター 組合議会 定例会	3月26日(火)	令和5年度みやこ町高齢者大学・ 女性学級合同閉講式
2月13日(火)	人口減少問題対策特別委員会視察研修		
2月16日(金)	行橋市・みやこ町清掃施設組合議会 定例会		

人口減少問題対策特別委員会視察研修

日 時 2月13日㊦ 13時30分～15時30分
場 所 岡山県奈義町
参加者 田中 勝馬 中尾 昌廣 六田 一美
梅本 智明 小田 勝彦 石松 雄太
柿野 直子 岩村宗一郎
報告者 石松雄太委員



子育て支援施設「なぎチャイルドホーム」は、就学前の子育て支援機能に加え、地域交流の場としての世代間交流や、就学児童の放課後場所づくり、一時預かり保育など、多機能的に子育て支援に関わる拠点となっていた。

奈義町には、多くの子育て支援策があるが、そのほとんどが議員提案だということには驚いた。議員が町民目線でしっかり提案し町が耳を傾け政策として実現していく流れは見習うべきであると感じた。

研修を快く受け入れてくださった奈義町様
ありがとうございました！

基地対策特別委員会要望活動

日 程 1月30日㊦
場 所 防衛省、衆・参議院議員会館
参加者 田中 勝馬 飯本 秀夫 柿野 義直
大束 英壽 中尾 昌廣 小田 勝彦
柿野 直子
報告者 柿野義直委員



◀ 鬼木 防衛副大臣と

2024年1月30日に議員会館をたずね、地域になじみのある国会議員に騒音対策などの要望書を手渡し、陳情をおこなった。

その後、町内の基地周辺10区でつくる基地対策委員会の皆様と合流し、防衛省に陳情をおこなった。

鬼木誠防衛副大臣から御挨拶を受け、担当課長から要望書への回答があった。

要望内容は次の4つである。

- 1, 騒音地域の見直し、防音工事の対象施設などの拡大
- 2, 国が買い取った土地の草刈り時期、回数の改善
- 3, 国から出ている補助金の年度内の早期の交付および一般財源化の要請
- 4, 安全対策の徹底と事故発生時の迅速な情報開示の要請

担当課長からはいずれも「前向きに検討する」との回答であった。今後も働きかけを強め、要望事項を実現していかなければならないと考える。

いいもと ひでお
飯本 秀夫 議員



問 防災はまず「むらづくり」が基本ではないか

答 自助、共助が最も大切と考える



動画はこちら

地域課題解決支援補助金とは

地域住民が自主的に行う地域活動に要する経費に対して交付する補助金のこと

対象：行政区

条件：次の3点を了承していただく

- ①ホームページへの掲載
- ②広報紙への掲載
- ③事例発表会等に参加

上限：1行政区1つの事業のみ 10万円/年度

問合せ先：行政経営課地域経営係 ☎32-2511

問 災害時に補助が必要な家庭を把握するとともに、集落全体で状況を共有しなければ、的確かつ機動力のある救助活動はできない。

そこで、「生きがい対策」を兼ねた集落版オレنجカフェや配食サービスを行政が推奨すべきだ。

観光まちづくり課長 継

統的活動のきっかけ支援として「地域課題解決支援補助金」を新設することで、防災活動や生きがい

対策等に有効活用してもらいたい。

産業誘致、農林業問題について

問 雇用の創生および税収確保のためにも高速道路にアクセスする道路網を充実させ、多種産業の誘致を図るべきと考えるが。

町長 既存施設を生かした地域主体の利用を優先して検討した上で、町民の利益につながる産業を誘致。

問 水張り5年ルールは、不在地主との利用権解除につながり、荒廃農地の増加は必至であるが、行政としての対策はあるか。

農林業振興課長 水田の

荒廃化は、景観や防犯、防災面においても好まし

くないので、施策を検討していく。

問 堆肥づくりに早速取り組んでいただいたが、将来の堆肥舎を見据えた条件で刈草やもみ殻を原料に再度、堆肥試験をしていただきたい。

農林業振興課長 示され

た原料は、産業廃棄物の位置づけにあり、使用条件を整備し、規模拡大した試験を実施する。

問 地産地消の観点から、給食センターあるいは量販店向け農作物生産で所得向上を図れないか。

農林業振興課長 地産地

消の観点と直売所への搬出等の拡大のため、様々な野菜の生産拡大を図っていききたい。

問 林道は、伐採および植樹を適正に実施する上で必要である。また、災害時の迂回路としても広く利用できるので、早急に整備を。

町長 広域林道でカバーしていると考えるが、詳細を調べ検討する。

遊休施設について

問 遊休公共施設の試験的活用は大いにすべきと考えるが、公共施設所定の手続きを経ず、すでに利用しているがなぜか。また規定は。

財政課長 管理規定等の定めはなく、公有財産の検討会議や財産審議会を経て、地域住民による団体に貸し出している。

うめもと ともあき
梅本 智明 議員



動画はこちら

問 内田町長の約2年間、点数は何点か

答 大変難しい質問、しっかり頑張っていく

問 町長就任後約2年、この間の取組みの自己評価について伺う。

町長 この2年間は、体制固めや計画づくりなど苗床を作り、種をまく作業をおこなった。住民の皆様に変化を感じる取組みでなく、申し訳なく思う。

問 グランドデザインの進捗状況と今後の具体的スケジュールを伺う。

町長 令和5年度に基本計画、令和6年度に実施計画の策定をおこなう。事業実施年数や予算総額などは実施計画で示す。

問 3つの拠点、金額面もマンパワーも必要になる。どこか1カ所を優先的にモデル的に進め、その状況により他の2つの拠点

を進めるといふ考えはないか。

町長 全てを町職員だけでやるとなるとマンパワー不足になる。官民連携の団体ができるならスピードは上がる。現段階でどこを優先的にというより、そういう体制が可能かどうかの見極めが重要と考える。

問 地域農業、農地の保全にも必要不可欠な営農組織にどのような対策を講じているか。

農林業振興課長 今年度から来年度にかけて集落営農組織連絡協議会で各営農等の状況を精査し、情報収集をおこない、情報交換の場も設定したい。

機構改革について

問 政策調整監の設置、いわゆるスーパー公務員と言われる方がみやこ町に来ていただけるのか。

副町長 そう簡単に来ていただけるかは難しい。ただその手段、状況を作る必要があると提案した。

発達障がい現状と対策

問 発達障がいの確認方法及び相談窓口、支援対策について伺う。

町長 子育て・健康支援課でおこなっている1歳半健診、3歳健診により確認している。また、発育相談を受け、町の療育支援事業のたんぽぽ教室で臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士により訓練等をおこなっている。必

要に応じ障がい児通所支援サービス等も紹介している。

昭和100年を迎えるにあたって

問 昭和の元号考案者、吉田学軒はみやこ町出身、昭和100年記念事業の取組みについて伺う。

教育長 記念事業や博物館での企画展示など昭和にちなんだ催しの開催を検討している。特別な企画や事業は、今後、関係者の意見や情報等も伺う中で、町の歴史や特性に沿った具体的な計画を組みたい。



マンガふるさとの偉人「吉田兄弟物語」
(発行元：みやこ町)

かきの 柿野 なおこ 議員 直子



問 学校・公共施設での生理用品配布の現状は

答 保健室や11の公共施設で配布している



動画はこちら

問 学校など公共施設の女性トイレの環境についてはコロナ感染を機に生理の貧困が可視化され、その対応が全国に広がっている。小中学校の生理用品の配布、トイレに常備する等現状を伺う。

町長 小中学校ではトイレに常備する形でなく、希望者に保健室で配布する方法となっている。公共施設では、現状は女性活躍推進事業として役場、図書館等で配布しており、女性トイレの洗面所に設置している引き換えカードを施設の窓口を持参すると生理用品1セット受け取ることができる。

問 生理用品の提供場所を保健室のほかに設けるなど、児童・生徒が安心して入手できるように工夫

が必要だが、どう対応されているか。

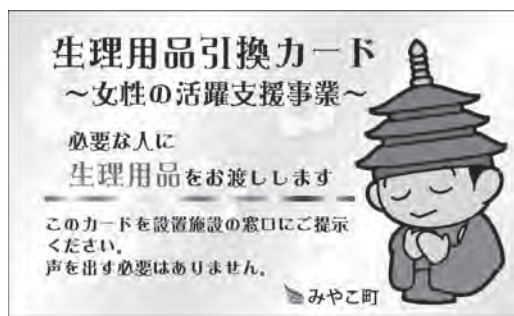
学校教育課長 各学校で検討の上、保健室で配布している。今後の在り方については学校の養護教諭の定例会議、養護部会で意見を聞いてみたい。

問 動物の飼育による情操教育がおこなわれてきたかと思っているが、復活させる考えはないか。また、廃止状況になっている根拠を伺う。

教育長 現在、飼育小屋を設けて動物飼育をおこなっている学校は町内にはない。2000年代に入ってから、たびたび鳥インフルエンザの流行が全国的な問題となる中で、各学校長の判断で、次第に飼育小屋が閉鎖され、現在に至る。命の教育が重要であることは今も昔も変わるものではない。総合的な学習の時間、道徳の時間を通じて命の教育は今後も積極的に推進していく。

問 数字では表せないと思うが、動物飼育の効果はあったと考えるか。

教育長 命の大切さ、愛する心あるいは思いやりの心等間違いないと育っていると思っている。鳥インフルエンザをはじめ、ウサギの菌が人にうつるようなことを考えたとき、どうしても学校だけでは限界がある。



生理用品引き換えカード

問 町営住宅に空き室があれば定期的でなく、随時公募をおこない、希望者に少しでも早く入居できるようにできないか。

町長 現在、町営住宅の定期募集を1年間に4回程度とすると規定されており、それに沿って定期募集を実施している。応募件数が募集戸数を下回る状況も踏まえ、今後は入居可能な住宅を有効に活用すべく、空き家状況を確認し、随時募集を実施する。

問 町営住宅入居者の公募について

おだ かつひこ
小田 勝彦 議員



動画はこちら

問 学校給食費、保育料の無償化の対策は

答 令和6年度より、給食費の全額免除を実施する

問 給食費助成の対象者は。

教育長 町立小中学校に通う児童・生徒。助成方法は免除。

問 免除の対象数は。

学校教育課長 小学生721名、中学生392名、合計1113名。

問 町外から通学している児童・生徒数は。

学校教育課長 小学生18名、中学生38名、合計56名。

問 区域外通学している児童・生徒は免除の対象となるのか。

教育長 町立小中学校に通う児童・生徒が対象。町内から町外に区域外通学している児童・生徒は対象外。

問 町内から町外に区域外通学している児童・生徒は。

徒は、学校給食費条例や規定にあてはまらないのか。

学校教育課長 学校給食法第4条の規定により町立小中学校に在学していない児童・生徒は学校給食という点においては無償化の対象外。

問 町内に在住する児童・生徒で格差があるのではないか。

学校教育課長 みやこ町の大切な子どもたちであり、無償化への事務手続き、支援の手法など調査研究をおこなう。

子育て支援について

問 対象者、時期について。

町長 町内に在住する保護者及び児童が対象。令和6年4月から実施予定。

問 3歳児から5歳児について。

町長 国の制度で保育料は無償化されており、副食費に対し4700円を上限として助成する。

問 0歳児から2歳児については。

町長 現在、保育料は世帯の状況に応じて免除や軽減はあったが徴収しており、副食費は徴収されていない。今後、保育料の無償化を実施する。



保育料無償化のチラシ

若者向け住宅について

問 若者向け定住促進の状況については。

町長 若者世帯の定住及び地域活性化を推進する目的で犀川今里地区に平成26年に16戸の提供をおこなっている。

退去者18件中13件が町内に転居している。一定の効果があったと考える。

問 若者向け住宅の建設については。

町長 建設計画はない。有効的な建設地の選定や多額の建設費など、今後まちづくりの骨格となるグランドデザインとの融合を図り、建設計画について検討する。



まつもと じゅん
松本 潤 議員

問 第一次産業を問う

答 農業ビジョン等に基づく施策を検討する



動画はこちら

問 昨年9月議会でも質問したが、今まで作物を作ってこられた方々や、これから農業を始めたいと思う方々も含め個人農業者への支援は出来ないか。

町長 みやこ町には必要な生産活動と認識しているので、財源面を考慮しながら、農業ビジョン等に基づく施策を検討し実施していく。

森林の間伐材の活用について

問 子どもたちが木の大切さを学ぶ為、学校給食に使用する食器等に加工を考えていただけないか。

町長 衛生面や管理方法等、課題が多く困難と考えている。

問 小学校でよく使うおぼん等から、木製に変えたりはできないか。

農林業振興課長 今後、林業において出てきた間伐材等使用方法については検討していく。

放置竹林について

問 管理が行き届かないで荒廃のままになっている山がたくさんあるが、どのように考えているか。

町長 みやこ町には、400ヘクタールが竹林となっており、タケノコの生産に活用されているものは一部で、多くの竹林が放置されていると認識している。今後、竹林としての活用が見込めないものについては、スギ、ヒノキ等の植樹を行ない、普通林として管理できないか作業を進める。

問 スギ、ヒノキ以外に植えることは出来ないか。

農林業振興課長 現在、考えているのは、スギ、ヒノキで何らかの収益を得られればとの考えだが当然、広葉樹等の植樹も検討していると考えている。

問 竹は粉碎しチップにして田畑にまくと良い土壌改良材になる。また、注目されている竹を利用したトイレットペーパーや紙等、日用品としても生まれ変わり、みやこ町の産業の活性化にも期待できると思うが。

町長 現在、SDGsの観点からも、今後、積極的に取り組んでいく。



みやこ町内の竹林

はらだ かずみ
原田 和美 議員



動画はこちら

問 防衛省の地元騒音対策としての交付金補助金の使用内容を問う

答 豊津地区の配分は74%であり、10区に対しては19%である

問 旧豊津町では、防衛省から騒音等の地元対策として、交付金等補助金が来ているが、どの様に使われているか分からない。今なお地元住民は騒音に悩まされているが、行政は何の対策をしているのか。その使用内容の明確な説明を求む。

町長 令和5年度については、道路整備事業9件、水道管改良事業4件、基金積立3件である。地域別配分は、勝山地区11%、犀川地区15%、豊津地区74%であり、騒音の激しい通称10区は、19%となっている。また、令和4年度より農業施設の工事に対する負担金の減額、公民館等の電気代助成を実施している。

問 交付金等補助金は、

74%の配分との回答であるが、5億円の補助金であるなら3億5千万余りの金額だから、地元負担金がいらないのでは。また、公民館の設備修繕に費用を回せるのでは。

町長 地元の負担感が軽減されるように、もっと厚く使うべきという意見に基づき、使い方についても、担当課と検討する。

要望 今後は、町長がよく協議して、騒音に悩まされたりしている地元地区の方が、「町長がしてくれて良かった」と喜ぶようなことをしていただきたい。

問 みやこ町の人口減少について

問 高齢者が多く人口が合併後、数千人減少し未だに減少の傾向にある。

人口減少の具体的な原因を把握しているのか。どのように対策するのか。また、若者が町内に来るような施策を考えているのか伺う。

町長 人口減少は、年間380人減少し、自然減が256人、社会減が124人となっており、データを分析し、明確なターゲットを絞った戦略的な対策と施策の展開が必要であると考え。若者については、子育て支援の拡充や環境教育の整備を図り、町内外にPRするなどの施策を進める。

問 グランドデザインについて、専門家の意見を聞くことは、理解するが、田舎の良さを知る地元の職員を配置して一緒に協力して作成したらどうか。

合併から現在までの人口比較

	平成18年 3月末	令和6年 3月末	増減
総人口	23,417	17,891	▲ 5,526
世帯数	8,569	8,389	▲ 180

町長 議員の意見とおりだと思う。今回、外部から入って頂き、私見では及ばないところをやってもらっている。今回の基本計画は、外部の方と職員と一体になって作ったものであり、まちづくりの骨格になるものであるが、今後しっかり説明を行う。

要望 人口減少は、深刻な問題であるので、若い人がどんどんみやこ町に定住できるような施策をお願いする。



いしまつ ゆうた
石松 雄太 議員



動画はこちら

問 保育料無償化のPR方法について

答 SNS、ホームページ等を使用しPRする

問 若者向け住宅のよう

な住まいが、勝山地区、
豊津地区にも必要と思う
が。

町長 住まいの確保が弱

いと感じているので、広く
住宅政策に力を入れてい
く。

問 副食費助成について伺

う。

町長 各園で徴収してい

る副食費に対して470
0円を上限に助成をおこ
なう。

閉校した学校について

問 閉校した学校の維持

管理料は。

町長 旧節丸、柳瀬、城井

3小学校跡の草刈り費用
として約80万円。

問 学校跡地を使用した

いという問い合わせはな
いのか。

財政課長 数件の問い合

わせはある。

問 学校跡地を利用する

際、審査基準はあるのか。

町長 具体的にまだでき

ていない。

大谷翔平グローブについ

て

問 大谷翔平グローブの管

理方法は。

学校教育課長 各学校で

鍵付きロッカーに入れてい
るところもあれば、校長室
に置いているところもある。

問 活用状況は。

教育長 令和5年12月25

日に届き、年内に各学校へ
の配布を終えた。

次の世代に夢を与え、勇

気づけるためのシンボルに

なることを望むという大
谷選手の気持ちに込めら

れるように各学校の自主

的な管理の下で有効活用

を図っていきたいと考えて
いる。



大谷翔平グローブ

災害について

問 ハザードマップを更新

しているが、周知はどのよ
うに行うのか。

総務課長 広報誌の配布

に併せて、各家庭へ配布す
る。

問 新たに指定された地

区はないのか。

総務課長 新たに危険地

区に指定された地区もあ

るので、町民の皆様にお知

らせする。

問 個別避難計画策定状

況は。

総務課長 平常時からの

情報提供に同意して頂い
ている方は45名。計画が作
成できているのは、1世帯
2名。

2名。

役場職員の働く環境につ

いて

問 ストレスチェックは

行っているのか。

総務課長 年一回の健康

診断に併せて実施。

問 高ストレスと判断され

た職員は。

総務課長 高ストレスと

判断された職員はいる。

問 ハラスメントに対する

相談体制は。

総務課長 ハラスメント相

談員を設置している。

くまがい みえこ
熊谷 みえ子 議員



動画はこちら

問 学校給食に地元農産物の使用を求める

答 地場産率の向上に努めたい

問 地産地消で農業への関心を高める活動を求め、給食の質をさらに改善へとつなげるため、有機野菜などの使用を増やすことを求める。

学校給食費無償化を実現したいと署名を集める中で、「安いから我慢強いらなければならないのか」との声もあり、給食の充実、有機野菜の使用を求める。

教育長 令和4年度の実績で、学校給食へ提供された農産物のうち、米以外の農産物の地場産率は約35%である。さらに取り組み、給食の地場産率の向上に努めたい。

有機野菜の使用は、限られた予算の中、必要な量が確保できるかなど、調査研究していきたい。

毎月19日食育の日に合わせ、地場産だよりを発行し、給食に使用される作物と、その生産農家を紹介、地場産農産物に親しみ、農業に対し関心を持つ取組を進めている。

町づくりの観点から空き家対策を

問 空き家対策モデル事業（国土交通省）などがあるが、みやこ町の空き家対策を問う。

町長 放置空き家を防ぐ目的で、シルバー人材センターと、空き家等の適正管理に関する協定を締結し、協力体制をとる。空家等対策計画の改定を計画している。

問 空き家のリースなど、活用に改修事業への補助

制度を検討してはどうか。所有者等への空き家対策に関する情報提供・ホームページなど活用して情報提供を行うこと。

町長 空き家等活用型起業支援事業補助金がある。

起業するための空き家改修事業の補助金は、町に定住し、条件を満たし、事業を行う物件の増改築の補助対象経費のおよそ3分の2以内で上限200万円を交付する制度。



みやこ町空き家バンク

就農希望者の募集、定着を

問 町外・町内を問わずに新規就農希望者が定着するためには、初期投資を抑え、新規の就農者が取り組める体制が必要ではないか。

町長 新たに農業を志す方の相談は、随時受け付け、2市5町合同で開催する新規就農相談会にも参加し、確保に努めている。

町では、新規に就農を志す者に対し2年間の研修制度を設け、専門的な技術習得や農業経営など、町内の専業農家の協力を得て進めている。



いわむら そういちろう
岩村 宗一郎 議員



動画はこちら

問 国道496号のトンネル化について伺う

答 今後も引き続き要望していく

問 国道496号について、昨年6月にトンネル化に向けてお伺いしたが、その後の取組について伺う。

町長 大分県中津市山国までのトンネル化の要望を今年度8月の別府・耶馬溪・行橋ルート国道整備促進期成会通常総会において、整備促進事業計画の承認を頂き、10月に別府・耶馬溪・行橋ルート国道整備促進期成会中央要望において、国土交通省、財務省、国会議員に要望活動を行っている。今後も引き続き要望していく。

問 豪雨以降、通行止めとなっている野峠の復旧工事はいつまでかかるのか。

町長 福岡県京築県土整備事務所に確認したところ、災害査定を経て、現在は用地買収まで終わり、工事発注の手続きを進めている状況。復旧工事の完成は令和7年3月末までかかる見込みである。



閉鎖中の野峠

公共施設について

問 犀川地区に所在するみやこ町コミュニティセンターいこの里及びユータウンホール等は、使用料金に加えて、空調施設使用料として1時間あたりの料金を設定しているようだが、料金が低いのではないかと指摘がある。今後の見直しは検討出来な

町長 近年、人件費や光熱費などの上昇により施設運営に必要な経費は増加している。こうした傾向がある中、利用料金は据え置いているのが現状。見直しの時期については、現在のところ予定はないが、適時、適切に実施したい。

子育て支援事業について

問 町内在住の高校生等に対する支援として公共機関を利用する際の定期券に対する補助を考えることは出来ないか。

教育長 本町では9割以上の高校生が町外の学校に通っており、そのほとんどは公共交通機関を利用していると思われる。全国的に見れば、通学定期の一部を補助するなどの支援を行っている自治体もあるようなので、そういった先事例について今後、調査研究してみたい。

なかお まさひろ
中尾 昌廣 議員



動画はこちら

問 新北九州空港利活用について

答 農業振興に関わる計画の中に取り入れ議論を進める

問 新北九州空港は24時間運用可能な物流拠点として利便性の向上、地元経済の活性化を目指している。海外への輸送も可能となり、農林産物の輸出を念頭におき、アジア諸国への輸出拡大を検討とある。

筑豊では、半導体関連企業の誘致を目指して大規模な工業団地を整備する動きが相次いでいる。

みやこ町も農産物の販路拡大や学校跡地に物流倉庫等、企業誘致の早めの働きかけが大事であるが動きを問う。

町長 今後、農産部門でも販路拡大や農産物の有利販売等の観点から、農業振興に関わる計画の中に取り入れ議論を進める。

要望 置き去りにされないよう、早めの行動をお願いする。

国土交通省九州地方整備局港湾空港部のホームページより



国土交通省九州地方整備局港湾空港部のホームページより

ケアラー支援強化を

問 ケアラー支援条例が制定された。みやこ町も老老世帯が非常に増加。その中、老老介護、認知症等も増加している。合わせてヤングケアラーも増加し大きな社会問題となっている。我が町の現状と対策を問う。

町長 要介護者全体の世帯に占める老老介護世帯の割合約17パーセント、要介護約6世帯に1世帯となっている。

放棄地活用について

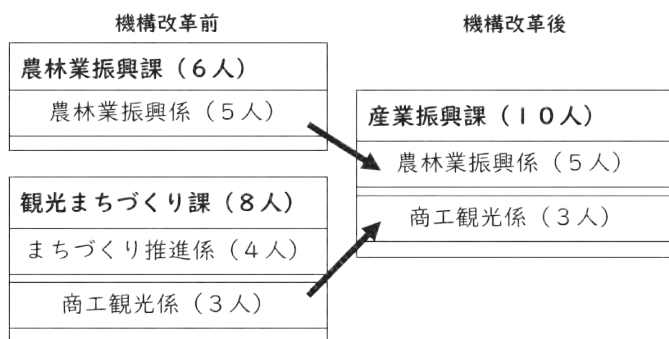
問 中山間地域では荒廃地、耕作放棄地、遊休地等年々増え続けている。無為無策のままでは手のつけられない状態になる。

町長 鳥獣や害虫が住みつき近隣の耕作農地に大きな悪影響を及ぼし用水路が潰れ大きな災害の要因となる。長野県松川町は、耕作放棄地対策として有機栽培農家と学校給食の取り組みが町の活性化につながっている。また、対策の一つとして早生桐の植林が注目され成長が早く5年で15メートルとなり10年で伐採できる。桐の木は高級木材である事から需要が高い。また、温室ガス吸収効果は、スギ、ヒノキの数倍と言われ温暖化対策に有効ともいう。我が町は美しい農村地域。この原風景を守り次世代に引き継ぐのが私達に課せられた責務である。早急なる対策を問う。

町長 早生桐の木の特性や栽培方法、木材の利用方法等を調査しみやこ町に適したことが分かれば広く周知する。

かきの よしなお
柿野 義直 議員**問** 産業振興課の目指すものは何か**答** 町の産業振興を推進するための体制強化

動画はこちら

問 農業は食料安全保障の上からも大事だ。食料自給率向上をどう取り組むのか。**問** どんな組織編制になるのか。
町長 これまでの分散されていた農林、商工、観光に関することを横断的な施策の立案や一体的な事業の推進が図られる。**町長** 食料を安定的に生産、供給する農業は非常に重要なこと。農業は町の重要な産業のひとつとして取り組んでいく。
問 来年度に町が取り組む農業アドバイザー事業とはどういうものか。
農林業振興課長 本年度に作成する農業ビジョンを実行するための実施計画、基本計画等の作成に当たり、外部の方の意見を頂きながら進めていくためのもの。**問** 改正食品衛生法が六月から完全実施される。基準を満たす加工施設を持たない人が直売所への漬物などの出荷ができなくなる。お年寄りの楽しみや、生きがいがなくなる。
町長 個人が漬物生産を続けていくには負担が大きいのと感じる。
問 漬物類の加工場について具体的な相談があっているのか。
観光まちづくり課長 生産者から補助金などについて県の保健所や町、商工会に問い合わせがあっている。**問** 経済的なことを含め、何か手立てを考えているのか。
副町長 県は補助金を出す計画のようだが内容は決まっていない。町としても支援を考えていく。
問 都市計画はどこまで進んでいるか。
町長 現在、201号線バイパス（案）の都市計画決定及び、都市計画区域は県、関係者と協議を重ねている。
問 国道201号線バイパス化によるプラスとマイナス面についてどうみているか。
町長 プラス面は暮らしの利便性向上、企業活動や物流、救急搬送の速達性や走行性の向上。マイナス面は用地の買収、それに伴う地権者の方及び沿線周辺の皆様に負担をかけること。現国道201号については、交通量の減少による沿線に並ぶ商店や事業所などへの影響が少なくなるよう国に要望する。
問 町内への企業誘致や宅地開発をどうとらえているか。
町長 産業を振興するために大切なことだと認識している。

がんばっちょる!!

育徳館中・高囲碁将棋部

目標 部員との絆を深め、全国大会出場!

成績

令和5年 ①高文連全国大会囲碁部門 団体(福岡県チーム)4位

②福岡県少年囲碁大会 (中学生)優勝

令和4年 ①高文連全国大会囲碁部門 団体(福岡県チーム)2位

②全国高校囲碁選手権出場

③高文連将棋県大会個人ベスト8

活動日・時間

月・火・木・金 16時~17時30分

部員数

高3 4名 中3 2名

高2 2名 中2 1名

高1 7名予定 中1 未定

新入部員募集中!!

やってみたい方へ

簡単な目標を立てて、その目標を達成できるように勉強すれば、するだけ実力がつくので是非やってみてください。



高校部長

中野 陽貴(なかのはるき)
高校3年生

魅力

勉強するたびに成長が感じられる

将棋の個人目標

2級なので二段取得が個人的な目標

趣味

御朱印集め
佐賀県有田陶山神社の御朱印おすすめ

練習内容

囲碁と将棋の基礎を学ぶ
為に専門書を読む
実践形式の対局



中学部長

栗崎 大輝(くりさきだいき)
中学3年生

魅力

部員がとても仲良く、
囲碁将棋が楽しめる所

個人目標

大会に出て一勝したい

趣味

硬筆毛筆どちらもやります



6月の議会定例会は、
6月3日(月)開会予定です。
議会傍聴においでください。

編集後記

まずは、能登半島地震による被災者の方々へ心からの御見舞いと一日も早い復興をご祈念申し上げます。

新人議員として一年が過ぎ、また広報委員としても、様々な経験をさせて頂きました。

現在みやこ町では、多くの問題があります。特に、少子・高齢化に起因する人口減少問題です。

これらはみやこ町で喫緊に取り組まなければならない問題ではないかと思っております。

「みやこ」は「中心」を意味します。ここ、みやこ町から、新時代のまちづくりをという希望も込めて、幅広い世代が住みよいまちになるよう努めて参ります。

これからも皆様に分かりやすく議会内容をお伝えできるよう取り組んでいきたいと思っております。

六田 一美

議会広報特別委員会

委員長	熊谷 みえ子
副委員長	石松 雄太
委員	柿野 義直
委員	六野 美直
委員	柿野 直子
委員	松本 潤
委員	田中 勝馬
発行責任者	